



CSR報告書 2013

トヨタ部品茨城共販株式会社

■目次/会社概要

■CSR方針/環境方針/推進体制……………P1

■トップメッセージ……………P2-3

■2012年度の活動

主な活動……………P4

環境目的目標の達成状況……………P5

環境保全の取り組み……………P6

気づき提案活動……………P7

社会貢献活動……………P8-11

■2005年からの環境保全活動と成果

省資源・省エネルギー……………P12

廃棄物発生抑制……………P13-14

主なエコ商品の販売……………P15

◆発行年月
2013年6月

◆報告対象期間
2012年度(2012年4月-2013年3月)
を対象としています。一部、2012年度以前
及び2013年度以降の活動についても掲載
しています

会社ビジョン

社会において存在感があり社員が誇れる会社

会社理念

1. 正直でお客様に信頼されること
1. 地域社会に貢献すること
1. 明るく働きがいのある職場をつくること

社 訓

1. 良心はすべての基礎である
2. なにごとも誠意をもって努力する
3. つねに研究を怠らず、新しい創意工夫をする
4. 仕事に精通すると共に、立派な社会人であること

会社概要

社 名	トヨタ部品茨城共販株式会社
設 立	1981年8月25日(1982年3月1日創業)
本 社	〒311-3157 茨城県東茨城郡茨城町小幡702-1
営業拠点	本社、水戸、日立、土浦、下館、鹿嶋、藤代、 三和、水海道、勝田、auショップ下妻
資 本 金	1億円
売 上 高	169億円(2012年度実績)
従業員数	209名(2013年4月1日現在)
事業内容	自動車部品・用品・石油・中古部品等販売、 損害保険業務、移動通信機器の販売
株 主	トヨタ自動車㈱、県内各トヨタ販売店

CSR方針

CSR宣言

私たちは、その事業活動を通じて、地域社会から将来に亘り信頼され、共に発展することを目指し、お客様第一主義に徹した優れた商品とサービスを提供するとともに、「企業の社会的責任」を果たすため、次の3項目を実践することを、ここに宣言いたします

コンプライアンス

法令の遵守をはじめ、正直で、公平で正しい行動を最優先とします

環境

未来に向けて、地球環境の保全に努めます

社会貢献

良き企業市民として、社会に貢献するとともに、すべての社員が誇りに思える企業となることを目指します

CSR基本方針

私たちは、法およびその精神を遵守し、正直な企業活動を通じて、地域社会に信頼される企業をめざし、以下4つのステークホルダー（利害関係者）のニーズを満たし、満足度を高めるべく事業活動を行い、地球環境、地域社会の持続可能な発展に貢献します

お客様

- ◆私たちは、「お客様第一主義」という信念に基づき、お客様が安全・安心にカーライフを送れるために、かつ、お客様のカーライフを豊かにするために、お客様に真に満足いただける優れた商品とサービスの提供に努めます
- ◆私たちは、「トヨタ販売店CSRガイドライン」等およびその精神を遵守するとともに「正直」を経営の基本として、お客様に信頼される企業活動を推進いたします
- ◆私たちは、「個人情報保護法」および、その精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます

社会

- ◆私たちは、環境に配慮した企業活動を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、地域社会に信頼される企業をめざして、環境保全、改善の継続的な取り組みに努めます
- ◆私たちは、何よりも人を大切に考え、法令をはじめとする社会のルールを守ります
- ◆私たちは、地域社会との対話や交流を積極的にを行い、信頼の獲得に努めます
- ◆私たちは、トヨタグループの一員として、交通安全対策に積極的に取り組みます

取引先

- ◆私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます
- ◆私たちは、独占禁止法をはじめとする関連法令および、その精神を遵守し公正かつ自由な取引を行います
- ◆私たちは、お客様や取引先などに対する贈答や接待については、受ける場合、行う場合とも良識の範囲にとどめます

社員

- ◆私たちは、労働関連法令の遵守はもとより、社員が生き生きと働けるように相互信頼、相互責任の精神に則り、互いを思いやりそれぞれの考え方や立場を尊重します
- ◆私たちは、社員が誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指そうことができるよう個々の自己啓発・成長を支援します
- ◆私たちは、社員一人ひとりが能力を向上し発揮できるよう、安全で働きやすい職場環境を整備します
- ◆私たちは、当社の機密情報を適正に管理するとともに、会社の許可なく第三者に開示したり、業務以外の目的で私的に使用しません

環境方針

基本理念

私たちが立地している茨城の四季折々、豊かな自然に恵まれた環境を、かけがえない財産と認識し、環境に配慮した企業活動を経営の最重要課題の一つと位置づけ「地域社会に信頼される企業」をめざし、環境保全・改善の継続的な取り組みに努めることを宣言します。

基本方針

1. 事業活動が環境に与える影響を的確に把握し、環境目的・目標を定めて、全社を挙げて継続的な環境改善活動に取り組みます
2. 環境に関する法規制、トヨタ共販店環境ガイドライン、及び自治体等の要求事項を遵守します
3. 事業活動において、下記の項目を重点項目として定め、環境汚染の予防に努めます
 - ① 省資源・省エネルギーの推進
 - ② リサイクルの促進・適正処理
 - ③ 廃棄物の削減
 - ④ 環境に配慮した商品の拡販 等
4. 全従業員が常に環境に配慮した行動ができるよう環境教育・監査を定期的に実施して、環境方針の理解と環境改善活動の維持向上を図ります
5. 地域社会およびお客様との協力関係を通じ、地域の環境保全・保護活動に協力します
6. 環境方針の社内への周知徹底を図ると共に、社外に対し情報を開示します

推進体制



〈新中期3ヵ年ビジョン〉

あらゆる変化に対応し、
「もっともっといいサービス」を提供する会社を目指そう!

本年4月より新たな飛躍に向け、新中期3ヵ年経営計画（2013年度～2015年度）を打ち出しました。

我々の取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少による保有台数の減少、更にハイブリット車、電気自動車等、次世代環境車の普及に伴う保有構造の変化など、アフターマーケットの状況も大きく変わってきています。

いかなる状況にあっても我々は生き残り継続的に成長し、お客様にとって無くしてはならない、そしてお客様から支持され選ばれる会社を目指さなければなりません。

そのためにも、現状に満足せず今よりも「もっと良くしたい、もっといいサービスを提供したい」という強い思いを持って、「もっともっといいサービス」を合言葉にした中期3ヵ年ビジョンを掲げ、全社一丸となって取り組みを開始いたしました。

そうした中で、コンプライアンス・環境・社会貢献のCSR3本柱への取り組みは経営の重要項目であり、今後も継続して全社員が地道にコツコツと取り組んでまいりたいと思います。昨年においても、社員一人ひとりの積極的な取り組みにより、環境保全・社会貢献活動に成果が出た一年であったと思います。以降、昨年の主な取り組みにふれさせていただきます。



代表取締役社長

近藤 芳彦

「環境保全への継続的取り組み」

環境保全への取り組みを開始して10年が経過し、EMS活動を通じた環境改善のPDCAサイクルが全社に定着してきており、2月には3度目となるISO14001更新審査を認証継続いたしました。

また、新たな取り組みとして「気づき改善活動」を昨年4月よりスタートいたしました。社員の一人ひとりが身近な問題・課題に「気づき」⇒「すぐに変える」ことを全社で実践し、年間1,600件を超える改善に取り組んでいただきました。この改善には、節電・3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動・作業効率の向上等も含まれ、環境保全にもつながる活動となりました。

その結果として、節電活動は昨年に引き続き、2010年比68%と目標70%を達成することができ、課題であったリサイクルバンパー回収についても、販売店様を始めとするお客様のご協力もあり、回収率 84%（前年比 +12%UP）まで高めることができました。

「社会貢献活動の更なる推進」

社会貢献活動では、全社員が従来の活動（献血、ペットボトルキャップ回収、清掃ボランティア等）を積極的に取り組むとともに、活動の充実が図られました。

献血は、3年連続で100名を超える活動となり、エコキャップ回収活動は、2009年の取り組み開始から累計111万個（ワクチン1388人分）の回収と大きな成果を出していただきました。清掃ボランティア活動においては、各営業所にて自治体主催の清掃ボランティアに8営業所11回と積極参加し、地域社会の一員として新たな社会貢献活動を推進することができました。この活動を通じ、地域住民の皆さんから「ありがとう」「ご苦労様」など多くの声をかけていただいたとも聞いております。これらのことは、当社が地域社会との共生や絆を深めてゆく中で、非常に大切な活動になったと思います。改めて支援活動へのご協力に対し、御礼・感謝申し上げます。

引き続き、地域社会との共生、地球・環境保全への取り組みを更に推進し、お客様や地域社会の皆様から「ありがとう」と感謝の言葉をたくさんいただけるよう全社一丸となって邁進してまいります。



主な活動

■環境

CO₂排出削減活動を中心とした各活動を、全社を挙げて取り組んでおり、日常業務に環境保全活動が定着しています。また、2004年に認証取得し、9年目を迎えた環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001更新審査を2月に合格。継続的改善が認められています。

■社会貢献

各活動とも更に活動の幅を拡大しました。特に清掃ボランティア(詳細P8、P9)やエコキャップ回収(詳細P10)、献血(詳細P11)では、成果が数字となって表れており、社員のやりがいにつながっています。

年月	環 境	社 会 貢 献
過 年	<ul style="list-style-type: none"> ■省エネ・省資源、廃棄物発生抑制 ■エコ商品の販売 ■リサイクル品の回収 ■環境関連法令の順守 	<ul style="list-style-type: none"> ■会社周辺清掃ボランティア ■防犯活動(安全安心まちづくり運動) ■エコキャップ回収活動 ■AED設置
2012年 4月	4/13 本社に充電ステーションを設置	
5月		<ul style="list-style-type: none"> 5/27 土浦市虫掘町内清掃参加 5/27 筑西市積塚地区内清掃参加 5/31 茨城町「関東地方環境美化行動の日」参加 5/31 VSP花壇植栽
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■環境月間 6/1グリーンカーテン全社一斉スタート 6/21夏至ライトダウン 	<ul style="list-style-type: none"> 6/7 献血(本社献血バス) 6/8 常総市内一斉清掃
7月	7/7 セタライトダウン	7/29 土浦第78回燻ヶ浦・北浦地域清掃大作戦
8月		8/4「千波湖花火大会」清掃ボランティア
9月		<ul style="list-style-type: none"> 9/2 日立市日高クリーンアップ作戦 9/27 神栖市クリーン神栖の日
10月	■環境内部監査	<ul style="list-style-type: none"> 10/2 衣料品収集ボランティア 10/4 献血(本社献血バス) 10/7 「土浦花火大会」清掃ボランティア 10/27 取手市環境美化活動
11月		11/25 ひたちなか市大島地域内環境美化作業
12月		<ul style="list-style-type: none"> 12/6 茨城町「騒乱空缶等回収町民運動」清掃ボランティア 12/6 VSP花壇植栽
2013年 1月		
2月	■ISO14001更新審査合格	2/10 日立市日高クリーンアップ作戦
3月		<ul style="list-style-type: none"> 3/3 土浦市第78回燻ヶ浦・北浦地域清掃大作戦 3/4 トヨタ純正チャイルドシートを交通安全協会に寄贈 3/7 献血(本社献血バス) 3/17 古河市随川上町ながみや神社清掃 3/27 茨城町社会福祉協議会へ入浴用車イスの寄付

環境目的目標の達成状況

■省エネ・省資源

電力使用量の削減では、室温(夏28℃・冬22℃)管理、省エネタイプエアコンへの代替、不要照明の消灯、ノー残業dayの推進等に積極的に取り組み目標達成。

■リサイクル品回収促進

お客様と一体となり取り組んだ結果、使用済バンパー回収は全ての販売ルートで前年を大きく上回ることが出来ました。

■ムダの削除

新たな取り組みとして、気づき改善活動の推進により、年間1,600件の改善提案があり、それぞれに業務効率が向上しています。

■エコ商品の販売

環境に配慮した商品の提案を積極的に行い、環境配慮商品売上比率が向上しています。

内が推進部門		評価(目標達成:○、目標差±5%:△、目標差±6%以上:×)		
項目		目標(4~3月)	実績	評価
■省エネ・省資源				
電力使用量の節約(kwh)				
総務部	全社	前々年比70%以下	68%	○
	本社	*	76%	×
	営業所	*	56%	○
LPガスの節約(m ³)				
総務部	全社	前々年比70%以下	71%	△
	本社	*	71%	△
	営業所	*	41%	○
社用車のエコドライブ推進(km/L)				
総務部	ディーゼル車	燃費前年比102%以上	98%	△
	ガソリン車	*	100%	△
	除くHV	*	96%	△
	HV	*	108%	○
	配送車	*	101%	△
■リサイクル品回収促進				
リサイクルバンパー回収率向上(%)				
販売店部	総販	回収率85%以上	84%	△
	内販	回収率90%以上	92%	○
外販部	外販(直売)	回収率95%以上	103%	○
	外販(卸売)	回収率60%以上	52%	×
■ムダの削除				
返品削減(%)				
販売店部	内販	1.20%以下	1.19%	○
	直売	1.00%以下	0.82%	○
外販部	卸売	1.70%以下	1.75%	△
出荷ミスの削減(万分比)				
物流部	本部	0.10%以下	0.06%	○
現場キャンセルの削減(万分比)				
物流部	本部	0.50%以下	0.46%	○
損傷品の削減(万分比)				
物流部	全社	0.04%以下	0.05%	△
■エコ商品の販売				
省燃費オイルの拡販(L)				
販売店部	内販	省燃費比率80%以上	64%	○
省燃費タイヤの拡販(本)				
販売店部	内販	前年比110%以上	96%	×
グリーンタイプCAFの拡販(個)				
販売店部	内販	前年比120%以上	100%	×
外販部	外販	*	104%	×

環境保全の取り組み

■電気使用量削減

- ①ノー残業day(毎週木・土曜日)の徹底
- ②電気メーター計測による日当たり使用量監視
- ③クールビズ
- 5-10月期間ノーネクタイ、室温26℃設定

■ライトダウンキャンペーン参加

- (8/21第1回ライトダウン・7/7七夕ライトダウン 20-22時の消灯)
- ①会社での取り組み(18時までに完全業務終了、消灯)
 - ②社員の家裏での取り組み(20-22時消灯、各家庭で任意で取り組み)
 - ③エアコン運転ルールの徹底

■緑化拡大・グリーンカーテン

- ・花壇の拡大
- 本社入口の花壇拡大



本社入口の花壇



本社花壇

■グリーンカーテン

ゴーヤ、琉球朝顔、パッションフルーツなどのグリーンカーテンを本社厚生施設及び全営業所で実施



本社(厚生施設)



土浦営業所



下宮営業所



水島通管施設



日立営業所



麻績営業所



馬代営業所



三向営業所



水戸営業所



麻田営業所

環境マネジメントシステム

■ISO14001認証

更新審査合格 2月14~15日の2日間、日本自動車研究所審査登録センターにより、ISO更新審査が実施されました。

今回は、3度目の更新審査で、過去3年間のEMS活動について審査され、主な確認事項として、前回審査時の是正処置運用状況、法令等の特定状況及び順守評価の実施状況、内部監査の有効性及びマネジメントレビューの実施状況など、8項目に対し重点的に確認されました。

当社のEMS活動が審査基準に適合し、適切に実施され維持されていることで認証されました。また、今年度のEMS活動の中で、地域に密着した社会貢献活動として、各営業所での清掃ボランティア活動やグリーンカーテン全社展開による省エネ活動について高い評価をいただきました。

当社のEMS活動も取り組みを開始してから10年が経過しました。11年目を迎えるにあたり、より一層お客様や地域の皆さんから「ありがとう」と感謝されるよう、全社一丸となって環境保全社会貢献活動に取り組んでいきたいと思っております。



気づき提案活動

■気づき改善活動の推進について

昨年4月から取り組みを開始した「気づき改善活動」は、社員一人ひとりが身近な問題・課題に「気づき」⇒「すぐに変える」ことを全部署にて実践し、年間目標提案件数1,500件に対し実績は1,800件と目標を超過達成できました。日頃から「気づき」「気づき」と意識し、問題発見し数多くの改善活動につながられました。この当社独自の活動を、QC活動とは別の新たな改善活動として定着化を図っています。

【現地現物での発表会風景】



社会貢献活動

■会社周辺清掃ボランティア

各営業所ごとに毎週木曜日、始業前に会社周辺の清掃作業を実施。



(会社周辺清掃ボランティア)

■地域の清掃ボランティア活動への参加

名称	実施日	参加人数
千波湖花火大会清掃	8月4日	62名
土浦花火競技大会清掃	10月7日	43名



(千波湖花火大会清掃)

■環境美化活動(ボランティアサポートプログラム)

ボランティアサポートプログラムとは2008年、国土交通省・茨城県・当社三者協力の特許取得施設を
開設し、県民活動や推進してあります

本社では茨城県小幡6号国道約1.5km区間の歩道を、毎週木曜日に
ゴミ拾い・除草作業と年に2回植栽帯の花壇へ草花を植栽。

名称	実施日	参加人数
関東地方環境美化行動の日	5月31日	77名
美浦町勤労者在団四町民運動	12月6日	71名



(土浦花火競技大会清掃)



(関東地方環境美化行動の日)



(関東地方環境美化行動の日)

社会貢献活動

○各営業所の清掃ボランティア

これまで毎週木曜日に実施している会社周辺清掃作業に加え、昨年度は地域住民の一員であるという自覚を持って、自治体主催の清掃ボランティアの情報を収集し積極的に参加しました。初めての活動参加にもかかわらず地域住民の皆様から「ありがとう」「ご苦労様」と心温まる声を多く掛けていただきました。今後も活動の輪を広げ積極的に参加してまいります。



〈5/27 土浦営業所〉



〈5/27 下館営業所〉



〈6/8 水海道営業所〉



〈7/29 土浦営業所〉



〈9/2 日立営業所〉



〈9/27 鹿嶋営業所〉



〈10/27 鹿代営業所〉



〈11/25 藤田営業所〉



〈2/10 日立営業所〉



〈3/3 土浦営業所〉



〈3/11 三和営業所〉

社会貢献活動

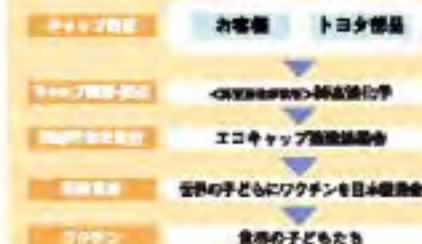
○エコキャップ回収の取り組み

2010年は28万個、2011年は41万個、2012年は38万個を全社員一丸となって、知人、友人、お客様へ「エコキャップを集めて、恵まれない国の子供たちにワクチンを送る活動をしよう」と呼びかけた結果です。これからも、これまでに築き上げたボランティアの輪を大切に活動して参ります。



(エコキャップ回収BOX)

世界の子供たちにワクチンが届くまで

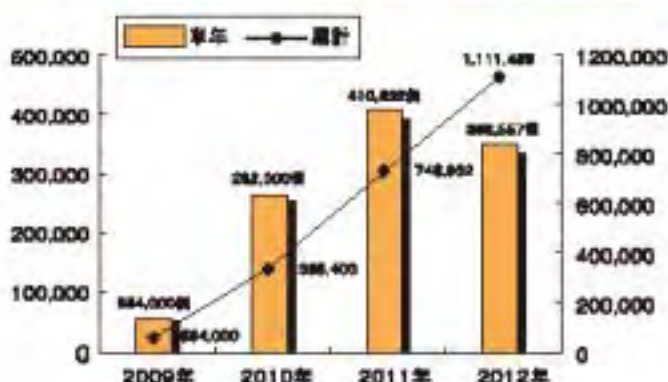


■エコキャップ回収活動累計100万個達成

2008年4月のスタートから、3年と10ヶ月で累計100万個の達成となりました。これは、(ポリオワクチンに換算すると1,250人分)となります。

実績

累計100万個達成



【回収先内訳】

	社員	協力店	軒数	合計
2009年度	39,915	18,085	8	58,000
2010年度	167,442	114,558	88	282,000
2011年度	173,801	236,731	53	410,532
2012年度	154,839	207,818	65	382,557

※エコキャップ800個＝ポリオワクチン1人分

○衣料ボランティアの取り組み

2011年の衣料ボランティアについては、衣料を640枚集めましたが大震災による隆殺の事情により寄託するまでには至りませんでした。そこで、今回5回目の参加となる衣料ボランティアには、今回集めた465枚に2011年集めた分を加え1,105枚を10月2日に連合衣類へ寄託してまいりました。集められた衣料は難民キャンプをはじめ、タイの福祉施設やラオスの被災地などへ送られました。



○旧ユニフォーム リサイクル

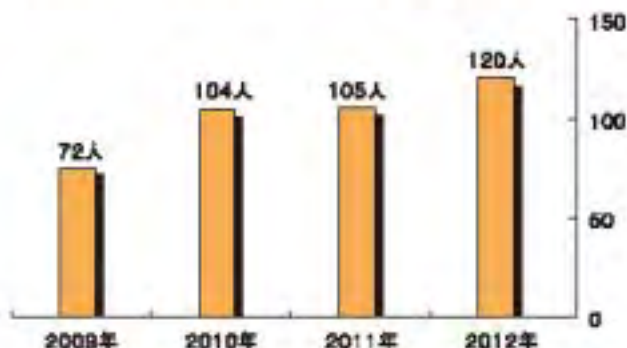
30周年を記念に、ユニフォームが一新されました。それに伴い、旧ユニフォームを回収し、ブルゾン、ワイシャツ、帽子等、3,000点余りが集められました。回収された旧ユニフォームは、環境保全の一環として、RPFリサイクルシステムを活用し、産業廃棄物として適正に処理され、石炭代替固形燃料として再利用されました。



社会貢献活動

献血活動

2012年度も、年間100名参加を目標に取り組みましたが、皆さんご協力により「120名」と目標を大きく上回る実績となりました。定期的に献血バスの誘致など、献血活動に取り組むことで参加者の意識が向上し、多くの社員の協力を得ることができました。



3年連続100名達成



本社での献血

トヨタ純正チャイルドシートを交通安全協会へ寄贈

トヨタ純正チャイルドシートを交通安全協会へ寄贈

2011年、トヨタ純正チャイルドシート30台の寄贈に続き、2012年度も2台の寄贈をさせていただきました。贈呈は茨城県交通安全協会で行われ、寄贈されたチャイルドシートは、県内の地区交通安全協会会員様へ貸し出され、チャイルドシート装着率向上と交通事故防止活動に活用されています。また、これまでの当社の支援活動に対し、茨城県交通安全協会より感謝状をいただきました。今後も地域の交通安全に貢献出来るよう、活動を推進してまいります。



交通安全協会へ寄贈



茨城県社会福祉協議会へ入浴用車椅子を寄贈

茨城県社会福祉協議会への入浴用車椅子を寄贈

新たな社会貢献活動として、当社に設置している自動販売機5台(本社2、水戸1、土浦1、水海道1)で販売された飲料水の手数料により、茨城県社会福祉協議会へ入浴用車椅子5台を寄贈いたしました。寄贈された車椅子は、館内にある介護施設や町内にある高齢者などで活用されています。今後も、このような地域社会に密着した社会貢献活動を実施してまいります。



茨城県社会福祉協議会へ寄贈

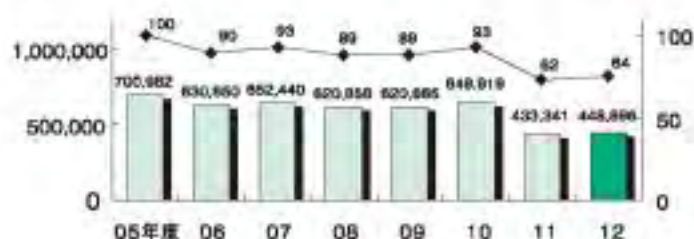
省資源・省エネルギー

◎電気使用量

■取り組み

- ・クールビズ(5-10月)
- ・リフレッシュデー(ノー残業day)の推進(木・土曜日)
- ・ACとパソコンの使用ルールの徹底
- ・こまめな消灯(紐スイッチ取り付け)
- ・蛍光灯調引き(全体の33%)
- ・省エネタイプ照明器具の導入

(電気使用量 単位:kwh, 05年比%)



◎倉庫空調用ガス使用量

■取り組み

- ・AC使用ルールの徹底(定期巡回)

■実績

(LPG使用量 単位:㎡/%)



◎燃料(ガソリン・軽油)使用量

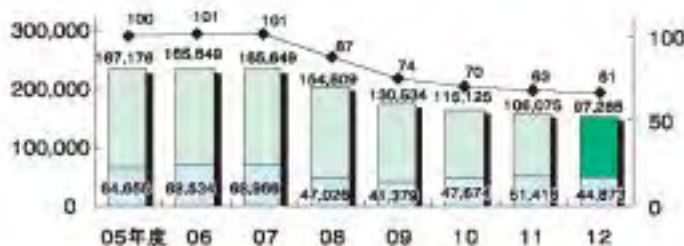
■取り組み

- ・エコドライブの推進
- ・燃費計測による監視(年間)
- ・エコドライブセミナー受講

■実績

■軽油 ■ガソリン

(ガソリン・軽油使用量単位:ℓ/%)



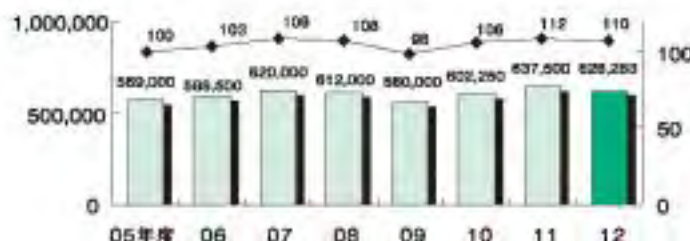
◎コピー用紙使用量

■取り組み

- ・ペーパーレス会議(iPad導入)の拡大
- ・裏面利用
- ・再生紙活用

■実績

(コピー用紙使用量単位:枚/%)



廃棄物発生抑制



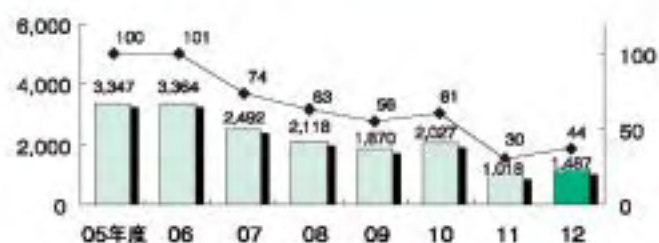
◎一般廃棄物

■ 取り組み

・分別の徹底による紙ゴミのリサイクル促進

■ 実績

(一般廃棄物排出量 単位: kg/%)



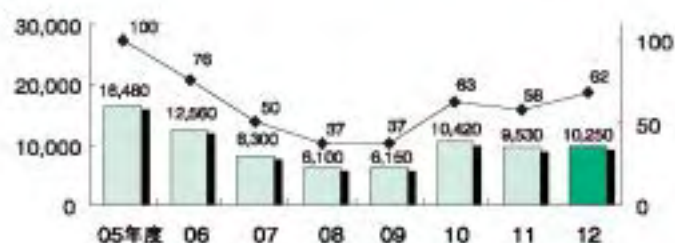
◎産業廃棄物

■ 取り組み

・梱包材のメーカー返却の推進

■ 実績

(産業廃棄物排出量 単位: kg/%)



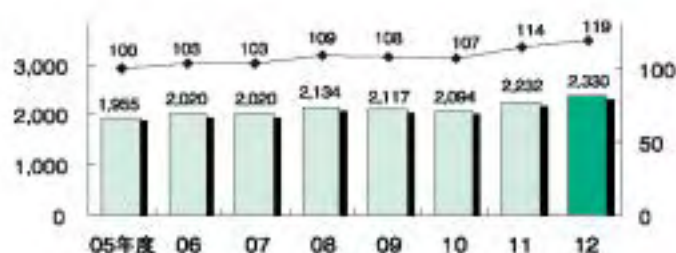
◎オイルのバルク配送推進

■ 取り組み

・2001年10月バルクオイル配送開始
 ・2009年6月省燃費オイルへの切り替え、拡販を推進
 ・2009年8月ローリー車を1台増車
 ・2010年8月ローリー車を1台増車、計4台で運行
 ・2013年3月ローリー車(シングルタンク車)⇒
 (ツインタンク車)に代替、同時給油が可能

■ 実績

(バルクオイル販売量 単位: kl/%)

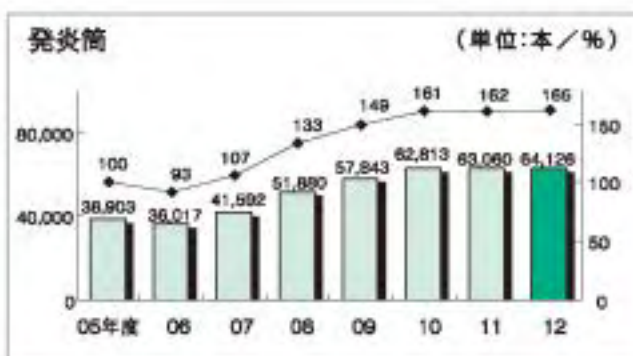
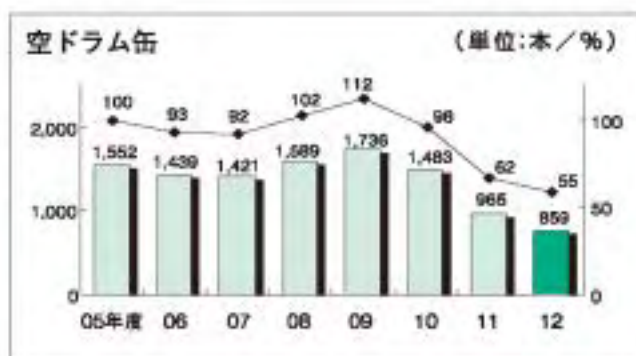
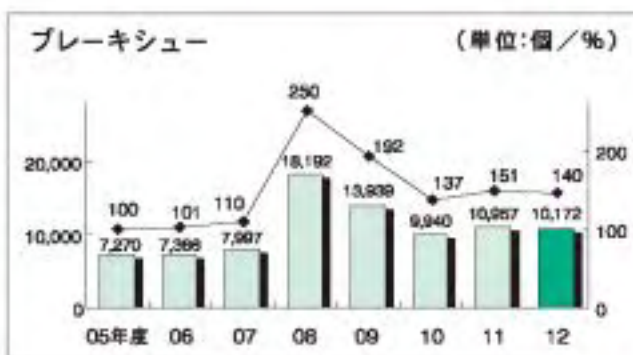
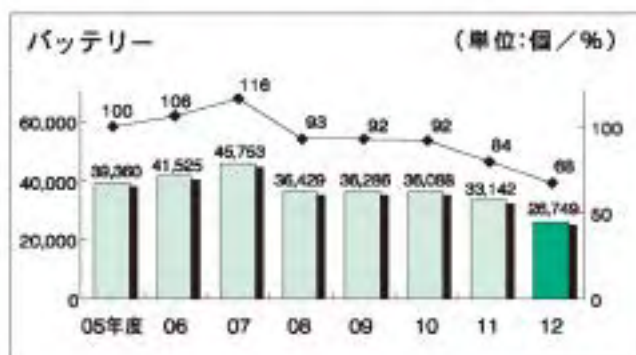
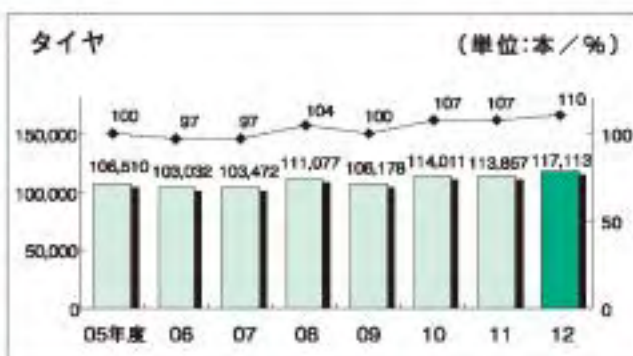
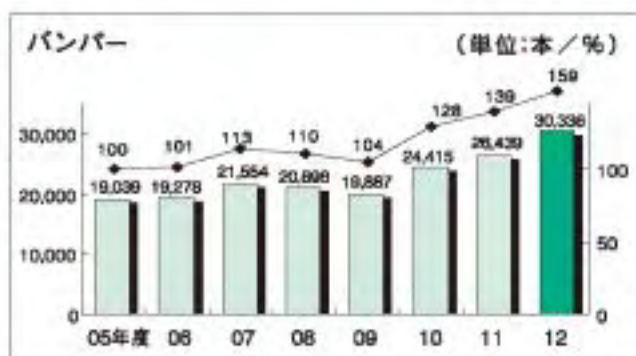


廃棄物発生抑制

■ 実績
● 05年度比

◎使用済部品の回収

■ 取り組み トヨタ環境ガイドラインに則り、使用済み部品の回収を適正かつ積極的に行っています。

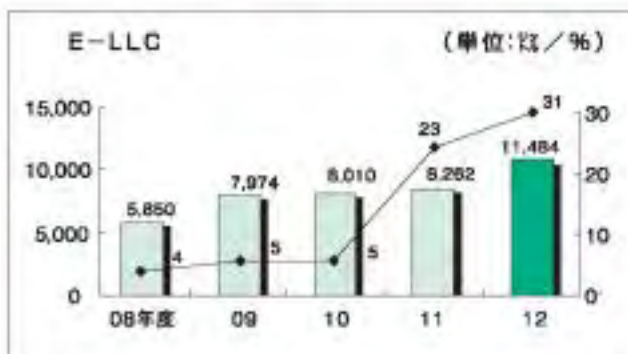
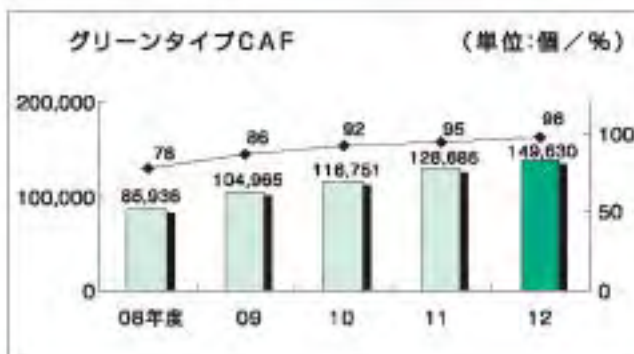
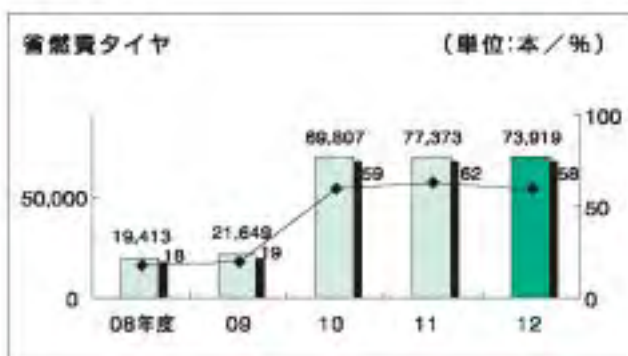
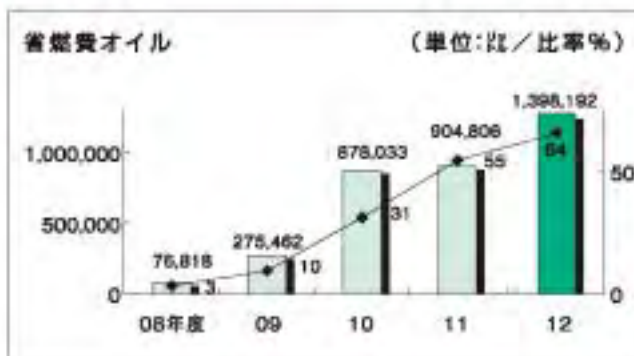


主なエコ商品の販売



◎エコ商品の販売

取り組み 環境にやさしい商品の販売に努めています



CO₂削減効果

◎CO₂排出量の推移

削減量は杉の木約139,600本分の植林に相当
05年からの削減量1.955t

※杉の木が1年で平均約14gのCO₂を吸収するものとして換算した場合



トヨタ部品茨城共販株式会社

〒311-3157
茨城県茨城郡茨城町小幡702-1
TEL:029-292-2431
FAX:029-291-0591
<http://www.ibaraki-kyohan.jp>

発行部署:総務部 総務・CSRグループ

品質保証



ISO14001
JAER0553